

ヨーロッパ思想演習

ヨーロッパ思想演習

2単位 (選択) 3年(前期), 4年(前期)

石田 三千雄・教授 / 人間文化学科

【授業目的】 卒論作成に向けて、文献検索の仕方や論文の読み方・論文作成の指導を行う。ヨーロッパの哲学思想に関わる文献を読むと共に、またそれに関わる哲学・倫理学の概念について討論し、プレゼンテーションの力も養う。

【授業概要】 主に近現代ドイツの哲学思想について学ぶ。カントやヘーゲルの哲学といったオーソドックスな哲学以外に、現代の環境倫理や広く自然哲学、自然美学などに関わる事柄も学ぶことができる。受講生は自分でテーマを設定して発表を行う。

【キーワード】 哲学, 倫理, ヨーロッパ思想

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 ヨーロッパ思想に関わる知識を身につけ、論理的な思考や論理的な文章を書く能力の養成を目標とする。

【授業計画】

1. 過去の哲学思想を学びながら、現代社会のあり方、人間の生き方について考える。哲学思想に関わる文献を読みながら、その間に受講生による発表を行う。
2. 最近の卒論のテーマは、「スピノザ哲学の考察—決定論と自由の整合性から—」、「グレゴリオ聖歌について」、「ミケランジェロによる三体のピエタ」などである。

【成績評価】 発表したレジュメと出席で評価する。

【再試験】 なし

【教科書】 [教科書]

【参考書】 そのつど資料を配付する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220152>

【連絡先】

⇒ 石田 (2328, 088-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜日14時~15時)

ヨーロッパ思想演習

2 units (selection) 3rd-year(1st semester), 4th-year(1st semester)

Michio Ishida · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target 卒論作成に向けて、文献検索の仕方や論文の読み方・論文作成の指導を行う。ヨーロッパの哲学思想に関わる文献を読むと共に、またそれに関わる哲学・倫理学の概念について討論し、プレゼンテーションの力も養う。

Outline 主に近現代ドイツの哲学思想について学ぶ。カントやヘーゲルの哲学といったオーソドックスな哲学以外に、現代の環境倫理や広く自然哲学、自然美学などに関わる事柄も学ぶことができる。受講生は自分でテーマを設定して発表を行う。

Keyword 哲学, 倫理, ヨーロッパ思想

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Goal ヨーロッパ思想に関わる知識を身につけ、論理的な思考や論理的な文章を書く能力の養成を目標とする。

Schedule

1. 過去の哲学思想を学びながら、現代社会のあり方、人間の生き方について考える。哲学思想に関わる文献を読みながら、その間に受講生による発表を行う。
2. 最近の卒論のテーマは、「スピノザ哲学の考察—決定論と自由の整合性から—」、「グレゴリオ聖歌について」、「ミケランジェロによる三体のピエタ」などである。

Evaluation Criteria 発表したレジュメと出席で評価する。

Re-evaluation なし

Textbook [教科書]

Reference そのつど資料を配付する。

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220152>

Contact

⇒ Ishida (2328, +81-88-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 水曜日14時~15時)